

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education



発行 北海道 NIE 推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎011-210-5802 FAX011-210-5826

北海道新聞ホームページ「NIE」(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/>)でバックナンバーから閲覧できます

NIE全国大会札幌大会 授業者・発表者 (敬称略)

区分	学校	教科	テーマ・単元	授業者・発表者	学校名等
公開授業 (8)	小学校	国語	未定	夏井彩	札幌・桑園小
		社会		中里彰吾	札幌・中央小
		道徳		上野裕子	札幌・栄南小
	中学校	国語		遠藤翔太	札幌・八条中
		社会		山田耕平	札幌・真駒内中
		道徳		近野秀樹	札幌・あやめ野中
	高校	総合		志田淳哉	札幌南高
		情報		桶雄一	恵庭北高
実践発表 (15)	中	社会	アイヌ文化学習とNIE	川上知子	日高・門別中
	高	現代社会	アイヌ文化学習とNIE	山崎辰也	北見北斗高
	小	社会	北海道の食に関わる学習とNIE	沢田敦	札幌・山の手南小
	中		北海道の食に関わる学習とNIE	掛水成幸	音更・緑南中
	小		小規模校のNIE	伊藤静香	富良野・布部小
	中	国語	言語活動とNIE	田中大地	札幌・北都中
		社会	地域学習とNIE	柳沢脩介	釧路・青陵中
			地域学習とNIE	川端裕介	函館・亀田中
	小	道徳	道徳学習とNIE	矢島勲	苫小牧・日新小
	中	英語	英語学習とNIE	山崎史朗	小樽・菁園中
				渡辺雅代	小樽・高島小司書
	高	探究基礎	金融学習とNIE	高石大道	札幌新陽高
	高		特別支援学校におけるNIE	曳田和樹	岩見沢高等養護
	中	社会	特別支援学級におけるNIE	三上毅朗	札幌・藤野中
	他		学校図書館とNIE	浅村麻姫子	札幌・手稲中・稲積中司書
				山田佳子	札幌・上白石小
				加藤孝志	七飯高
	大学		GIGAスクール時代のNIEとICT	中川一史 他	放送大学(千葉市)
分科会 (1)	中	社会	日本の産業基盤を築いた 日本遺産「炭鉄港」	鹿糠昌弘	美唄中
	他			吉岡宏高 他	炭鉄の記憶推進事業団 (本部・岩見沢市)

札幌大会 24プログラム

授業者・発表者 「オール北海道」

来年8月16、17日に開催されるNIE全国大会札幌大会(日本新聞協会主催、北海道NIE推進協議会など主管)で、大会2日目に北海道大学高等教育推進機構で行う公開授業や実践発表などの概要が固まった。プログラム数は特別分科会も含め全24。全道から教職者らが参加する「オール北海道」の体制になる。

新学習指導要領の実施が本年度の小学校から始まり、目標の「主体的・対話的で深い学び」を軸に、新しいNIEの実践に光を当てる。

公開授業の教科は国語、社会、道徳のほか、生徒が自ら課題を設定する総合(探究)やデジタル世代を視野に入れた情報もある。

若手からベテランまで教師8人が具体的なテーマと内容を検討中だ。実践発表ではアイヌ民族に関する文化学習もテーマになる。

になる。今年7月、胆振管内白老町に開業した「ウポボーイ」(民族共生象徴空間)の理念を支援する。食糧基地・北海道、過疎と小規模校の取り組みや特別支援教育にも向き合う。

大学からはICT(情報通信技術)教育を専門にする中川一史・放送大学教授(札幌出身)が参加する。特別分科会では日本遺産「炭鉄港」について夕張市石炭博物館館長でもある吉岡宏高さんが、北大会場と美唄中の授業をオンラインで結び地域と新聞の親和性に触れていく。

田中賢介さん パネル討論に

NIE全国大会札幌大会の初日パネルディスカッションに、プロ野球北海道日本ハムファイターズの元選手で球団スペシャルアドバイザーの田中賢介さんII写真IIが参加する。



は8月16日、札幌文化芸術劇場(hitaru)で開かれ、田中さんをはじめ、道内の農漁業や学校関係者らパネリストが地域、教育と新聞の関係などについて意見交換する。フリーアナウンサーの松本裕子さんが司会を務める。

田中さんは学校教育に関心を持ち、2022年4月、札幌市豊平区西岡に私立小学校を開校する計画を進めている。今年8月には高校生アスリートを励ます道教委の「青春アスリート応援アンバサダー」に就任した。



札幌大会PRビデオ完成

会場、マチの魅力全国に発信

来年8月のNIE全国大会札幌大会のPR動画が完成した。2002年から19年ぶり2回目となる大会を全国に発信している。動画は約7分。大会初日のパネルディスカッションで司会を務めるフリーアナウンサーの松本裕子さんが

ガイド役で登場し写真。初日の開会式と基調講演などが行われる札幌文化芸術劇場(hitaru)、2日目の公開授業や実践発表の会場、北大高等教育推進機構や大学構内を紹介する。公開授業の代表校の札幌・桑園小児童が大会への

参加を笑顔で呼びかけるシーンもあるほか、大通公園や時計台といった観光名所も花を添える。北海道新聞社NIEホームページで見ることができる。

今井さん考案ロゴ採用を祝う懸垂幕
江別高校

の公式ロゴをデザインした今井優笑(ゆえ)さん。江別高3年が通う同校に、採用を祝う懸垂幕が掲げられている写真。



懸垂幕は縦9m、横1m。正面玄関横の校舎壁面に8月中旬に設置。今井さんの作品のロゴ採用を在校生や来校者らに紹介している。今回のロゴ採用で、NIEを知った先生もいたようだ。懸垂幕は本年度内設置する予定。

NIE実践奮闘記

札幌国際大学准教授 大村 勅夫

コロナ禍により、世の中ではいくつものことが明らかに変わったような気がしています。そんなとき、教育は、学校は、教科は、どんなことができるのでしょうか。うんうん唸りながら考えています。

オンラインでのやりとりがいっぺんに増えましたね。そのためもあり、教科国語では、書くことと聞くことについて注目が集まりそうです。さて、これらにNIEは効果がありそうでしょうか。

高校現場にいたころ、新聞を使っているいろいろな単元を授業していました。読むことにも書くことにも知識習得にも、新聞は有効でし



言葉をいただいてもいいです。う！ そうだな、やってみよう！ その思い、考え、実践したのが次の単元です。話すこと、あるいは、聞くことの単元です。この単元のきっかけは、テレビを

心にもそのまま写しただけのものではない感じだけれど。そうなんです。ちょっとキャッチーな写真でした。読者の目を引き付けるための写真。そのものずばりではない写真。裏を返せば、推論が必要になる写真。そのとき、かかっていたテレビ番組が某探偵局の某探

つけないながら新聞を眺めていたときです。ふと気になったのです。あれ、この記事の写真はどうやって写したんだろう？ どんなことを思っこの写真を使っただろう？ 記事の主体を中

写真使い 対話／話す、訊く学びにつなげる

仮説を確認したり真実を発見したり。でもなあ、せっかく探偵さんロールプレイするのなら、調査相手も人間のほうが。そんなとき、多人数への授業公開を依頼されました。そうだ、見学者にも一枚嘴んでもらおう。生徒は探偵が聞き込みをする相手を見学者にやつ

てもらおう。生徒には写真を渡し、見学者には記事本文を渡そう。そうして、対話をうながそう。そんな単元です。

生徒には、聞き込み対象の写真に対応する記事を持つ見学者を探すところから、すなわち、知らない人たちに声をかけるところから指示します。また、聞き込みしたい相手にだつてそれぞれに事情もあり、必ずしもたくさんの質問がで

きるわけではない、だから、質問自体を最大三つまでとする、どんな質問が効果的かを考えること、などを提示します。見学者には、その提示自体を見聞きしたばかりの内容を仰ぎました。どんな内容をどんな方法で、どんな言葉遣いで、そんなことを彼ら彼女らは考え、

えさせ実行する。もちろん、あたった・はずれたなどの次です。紙幅の都合もあり、ここまでしか書けませんでしたが、もしも興味をお持ちの方がいれば、是非とも以下に気軽にご連絡ください。tokio-omura@tsu.ac.jp

新聞に未来へのヒント

NIE全国大会 初のオンライン開催

第25回NIE全国大会東京大会(日本新聞協会主催)が11月22日、日本プレスセンタービル(東京都千代田区)で開かれた。新型コロナウイルス感染拡大のため、初のオンライン開催。記念講演やシンポジウムなどをインターネットでライブ配信し、参加者は専用サイトから大会を視聴した。大会スローガンは「ともに生きる 新聞でつながる」。開会式に続く記念講

演で、作家の真山仁さんは、「新聞は知らないことを知ることができない」「未来へのヒントは新聞にある」などと教育での活用を呼びかけた。シンポジウムは、日本NIE学会と共同開催。「ウイズコロナ時代にNIEで培う力」をテーマに、行政や教育関係者ら6人が意見交換した。都内の高校教諭は、コロナ禍で「トイレットペーパーが不足する」な

「来年は札幌」熱心に視聴

来年8月、NIE全国大会札幌大会が予定される札幌では22日、大会関係者がコロナ禍でのNIEの意義や全国大会に向けて、東京大会のシンポジウムなどを

熱心に視聴した。

北海道新聞本社(札幌市中央区)1階の道新プラザDOBOXには、札幌大会主管団体の北海道NIE推進協議会の菊池安吉会長



初のオンライン開催となったNIE全国大会東京大会を視聴する、札幌大会の関係者

ど虚偽ニュースが広がったことをあげ、「リテラシー学習ができるNIEは一層必要になる」と述べた。同日は日本NIE学会もオンラインで第17回大会を開催。実践発表で京都の国語教諭は「新聞はテレビと異なり、他紙との内容比較が容易にできる」とリテラシー教育での優位性などを述べた。東京大会と実践発表の動画は日本新聞協会ホームページの専用サイト(<https://nie2020tokyo.jp/>)で2021年2月末まで視聴できる。

ら9人が集まった。シンポジウムでは、虚偽ニュースが広がったコロナ禍でのリテラシー教育の重要性が指摘された。菊池さんは「今だからこそやれるNIEがあることや、新聞の果たす役割の大きさを再認識した」と話した。同推進協会のNIEコーディネーター上村尚生さんはオンライン開催について、「NIEの研修のあり方の一つとしての手本になった」と受け止めた。また、日本NIE学会第17回大会では、「減反」についての新聞社説を使った高校社会科の実践発表について、同推進協議会長の兼間昌智さんが、社説を活用する意義などについて質問した。

アイヌ民族の「格差」考える 北見で本年度初セミナー

北海道NIE推進協議会主催の第18回オホーツク地区セミナーが10月27日、北見北斗高で開かれた。山崎辰也教諭は「アイヌ民族の格差問題」をテーマに新聞記事などから、長年の差別が経済格差につながったとする公開授業を行った。



公開授業で生徒の学びを深める山崎さん

現代社会「日本経済の問題」に関する単元全6時間のうち、1時間を格差問題に充て、3年生37人が学んだ。導入部では格差原理の学びを深めるため100万円があつた場合、出自や所得差などの隠された5人にどう分配するかを考えた。その上で、山崎さんは札幌大学がアイヌ民族を対象にした特別入学枠や奨学金を設けることを報道した2009年の記事を取り上げ「なぜ奨学金が必要か」など



と問いかけた。国の11年の調査でアイヌ民族の年収や大学進学率が平均より低いとした記事も示し、明治期の教育の機会不平等などを格差の新聞づくりなどを発表する北見市立中央小の3教諭

差の原因に挙げた。明治政府と北海道庁の関係資料も添えられ、生徒たちは精読した。最後に札幌大学の奨学金などは少数者の格差環境を是正する機会均等の意義があるとして生徒の評価を求めた。山崎さんは経済からのアプローチで格差に光を当て「生徒の社会認識を高めるため新聞を入り口に使った」と話した。実践発表では北見市立中央小の国分智哉、佐野重希子、鈴木映子の3教諭が35年児童と新聞づくりなどに取り組んだ実例を報告した。このうち「おいしい北見調査隊」の4年生は北見名物の焼き肉について調べ、成果を壁新聞にした。一方、上常呂小の斉藤靖恵教頭は、中学校教諭時代の学校図書館を利用した新聞づくりの発表をした。地区セミナーは本年度上半期、新型コロナウイルス感染症拡大で中止が相次ぎ、北見開催が今期初めて。教職者ら約40人が感染症対策のため検温、消毒を経て見学に参加した。

上川セミナー中止

11月13日に旭川市内で予定していた、NIE第20回上川地区セミナー(北海道NIE推進協議会、上川・旭川NIE研究会主催)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。オンライン開催も模索したが断念した。

データとファクト



セイコーマートはレジ袋無料継続で売り上げを伸ばしている

リレーエッセー

多紙彩々

す。北海道のコンビニ全体の売上高は前年同月比マイナス基調ですが、セコマはプラス。来店客数は減つても、一人当たりの買い上げ単価が上昇しています。レジ袋が無料なら、安心して買い物ができますよね。

新聞報道二つの「基本」

日本経済新聞社札幌支社編集部長

永井 伸雄

「レジ袋は必要ですか」「一枚3円になります」今年7月からコンビニエンスストアでも始まったレジ袋の有料化。みなさん、納得していますか？

私はコンビニでレジ袋に3円払うことに、かなりの抵抗感を覚えます。たかが3円、さほど3円、地球環境のため、とい

ますが、本当ですか？東大の教授が書いた本によると、プラスチック全体に占めるレジ袋の割合は2%

以下。家庭に渡るレジ袋がどれくらい海洋投棄されているのでしょうか。100円ショップでは

今、レジ袋代わりになる半透明袋が売られています。新型コロナウイルスの感染拡大で、使用済みマスクは直接ゴミ袋に入れられませんが、生ごみを捨てる時も、そのままでちよつと。環境問題への意識付けといわれても、なぜ3円払う必要があるのでしょうか。やっぱり儲けなのでしょう。大手コンビニとは一線を画し、「セイコーマート」では無料を続けています。「レジで必要かどうか、声かけを徹底すればいいこと」とか。そりゃそうですよね。消費者もわかっていま

関係者に聞くと「レジ袋の原価は1円程度」。差額の2円は、お店の懐に入っているとのこと。新聞報道で大事なことは、読者に判断する材料を提供することです。読者は新聞記者よりもずっと賢く、中途半端な知識や考えなんて見透かされます。JR北海道の廃線問題、運行・維持コストと、地元

「大雪のなか、深夜に作業していた人、何歳だと思える？ 80代だよ。10年後、この路線はなくなっているよ」。JRの元幹部から聞いた話は衝撃的でした。鉄道を残したいという思いはわかります。でも、現実は直視せずに「地域の思いをわかって」と万年赤字のJR北海道に訴えるだけでは前に進みません。鉄道からバスに転換するのと、地域は本当に衰退するのでしょうか。日本全国には鉄道がなくても、元気な地域はあります。例えば島根県邑南(おおなん)町。この町には若い移住者が増えています。IT(情報通信)？ 違います。ひき付けているのは「食」です。町役場には知恵者がいて、その人に以前、取材したことがあります。「東京など大都市に売りに行ってもダメ。東京から町に来てもらえばいいんです」。詳細はここでは書ききれませんが、キーワードは「地産外『招』」。おいしいのは当たり前。超有名シェフを招くため、料理学校を開設するなど、上手に話題をつくり、食のブランド化に成功しました。大事なことは行動すること。鉄道に頼らなくても町は発展できるのです。新聞報道の基本はデータとファクト。この二つで、現実を掘り下げる記事をどんどん発信していきたいと思

編集後記

○…来年8月のNIE全国大会札幌大会の公開授業者と実践発表者などが決まり、大会の輪郭が少しずつ見えてきた。新型コロナウイルス感染拡大で、思うように準備ができない状況は続くが、本番に向け一步一步作業は進んでいる。

○…本年度初のNIEセミナーは10月、北見市で開かれた。札幌大会をにらんだ公開授業もあり、参加者の「熱」を感じた。ただ、続く旭川でのセミナーは中止になり、コロナ禍はなお、NIE活動に影を落とす。

○…現在、札幌をはじめ、道内

の小中高校では、実践発表に関わる授業が行われている。すでに授業実践を終えた教諭のほか、複数の教諭が今後、実践を予定するなど札幌大会に向け準備に余念がない。また、日本新聞協会NIEアドバイザーの池田泰弘教諭(釧路市立北中)の論文が日本NIE学会研究奨励賞を受賞。札幌大会への追い風になっている。

○…新型コロナに翻弄(ほんろう)された2020年も残り1カ月。東京と同じく2度目の開催となる札幌大会は、コロナ対策はもちろん、大会内容も全国からの関心は高いだろう。期待に応える。関係者全員の思いだ。(坂)

高校新聞研究大会
オンラインで開催

第64回全道高校新聞研究大会(北海道高文連主催)が11月15日、ホテルライフオーソ札幌を主会場に開かれた。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、生徒184人が初のオンライン開催で新聞づくりなどを学んだ。

石狩支部の11校が実行委に名を連ね、遠隔地の道内各支部と会議アプリ「ズーム」で結んだ。高校新聞のあり方や高校生活の課題などで意見交換する四つの分科会で、生徒はそれぞれパソコンやスマートフォンを通じて交流を深めた。生徒44人が参加した新聞づくりの分科会では、講師のテレビ北海道報道部・伊東正剛記者(元北海道新聞記者)が「インタビュ取材は自分の財産」とし、世界を広げる好機になると語った。その後、生徒たちはサッカー、北海道コンサドーレ札幌の三上大勝GMをリモート取材し、選手獲得の心得や選手生活を振り返るの反省点などを聞いた。